

はればれ



黒大豆かん水の目安「SAKUMO®」を活用

勝英地域は黒大豆の主要な産地ですが、夏期の高温・少雨等の影響で、収量が低下しています。対策として開花期前後のかん水が有効と思われませんが、タイミングや回数は生産者の判断となっています。そこで、「栽培管理支援情報サービスSAKUMO®」を活用したかん水試験に取り組んでいます。このサービスは、ほ場の位置やほ場条件等を入力すると、水ストレス係数を推定し、かん水適期を予測してくれるものです。令和6年も開花期前後は少雨傾向であり、かん水指示がありました。本サービスの収量等への影響を今後検討していきます。

緯度	35.0186955	条の間隔(m)	0.7 ~ 0.75
出芽日	2024年06月27日	作土深(m)	0.20
10%カバー日	07月11日	圃場容水量(%)	37.40
100%カバー日	08月10日	永久しおれ点(%)	12.50
最大作物高(m)	1.20	黒ボク土	無



システムで見える水分ストレスの表
 令和6年も開花期前後は少雨傾向であり、かん水指示がありました。本サービスの収量等への影響を今後検討していきます。

ピオーネの着色向上に向けて

令和5年と6年、アブシシン酸液剤(商品名アブサップ液剤)の着色向上効果を勝央町で試験しました。2年を平均すると、カラーチャート値で約1向上しました。また散布と袋の脱着時間は10房当たり6分43秒、10a当たり3,000房で34時間でした。本剤の活用は、労働力が許す範囲の面積で実施するか、袋掛け時期が遅い無加温ハウスでの、袋掛け前の施用などが考えられます。本剤はぶどうの着色向上を認められた唯一の農薬です。効果を得るためには、適切な栽培管理をした上で、本剤の使用時期(着色始期)や使用方法等を遵守する必要があります。



処理区



無処理区

		着色 (C.C)	糖度 (Brix)	房重 (g)
R6	処理区	6.4	+0.5	18.8
	無処理区	5.9		18.9
R5	処理区	7.3	+1.6	17.8
	無処理区	5.7		18.2

品質向上効果

勝間田高校×勝英アスパラ

勝英地域のアスパラガス産地を盛り上げるため、産地マーケティング事業を活用し、関係機関が連携して産地戦略を令和5年に策定しました。この戦略を基に、令和6年は地元での認知度向上対策として、勝間田高校食品コース3年生を対象に、「産地見学研修」を開催しました。併せて、高校に地元アスパラガスを使った新商品開発を依頼し、「スコーン」や「アスパラガス入り肉味噌」等の試作品ができました。生産者を交えた試食会では、味やアイデアも好評で、商品化につながる一品となりました。今後も産地活性化を支援していきます。



生産者の話を聞く高校生

りんどう低標高栽培で初収穫

りんどうの栽培地域拡大と新規栽培者確保のため、これまで夏の暑さで栽培困難とされてきた低標高地での試験栽培に取り組みました。美作市上相の標高120mほ場で、本格的な暑さを迎える前に収穫可能な県育成早生品種「岡山RND4号」を令和5年5月に定植し、令和6年6月に初収穫しました。成長途上の2年生株のため、草丈は80cmほどと短いものの、心配された花卉や葉の高温障害はありませんでした。今後は、本来の特性を発揮する3年目以降の収量・品質や株寿命など安定生産に必要な能力を継続調査します。



ほ場の様子と切り花（右上）

獣害を受けにくい転作作物を

勝英地域認定農業者連絡協議会は獣害を受けにくい転作作物の視察研修会を開催し、美作市でエゴマとこんにゃく芋、鏡野町でとうがらしを視察しました。参加者は「加工品の製造方法や販売努力の大切さも学べた」と話していました。



こんにゃくほ場を見学

パソコン簿記を学ぶ

11月にパソコン簿記研修会を開催し、延べ20名が複式簿記の基礎や農業簿記ソフトの操作方法を学びました。簿記研修会では、農業簿記ソフト(ソリマチ)を利用した操作・仕分け方法等について理解を深めてもらいました。



簿記研修の様子

先進農家の飲食店営業を学ぶ

「営業許可取得の考え方と具体的な手続き」をテーマとした意見交換会を勝央町で開催し、美作県民局管内の6次産業化経営体18名が参加しました。

飲食店と農家民宿を営む講師は、自宅のDIY事例を交えて「自分のビジョンをしっかりと持つことが重要」と話しました。参加者からは「生活の一部を取り入れた農業体験メニューを考えたい」などの意見が出ました。

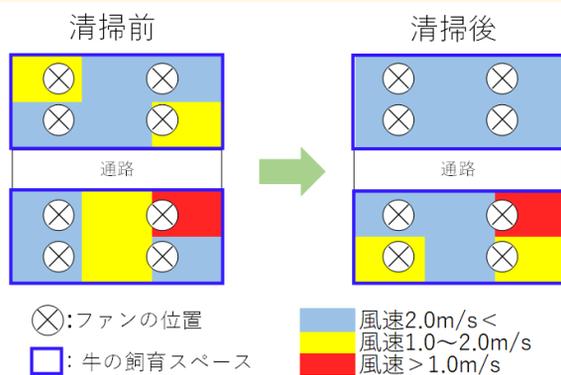


営業のポイントを学ぶ参加者

夏向け暑熱対策をお早めに

酪農において、暑熱ストレスは、乳牛の生産性を大きく低下させます。そこで簡易で安価な暑熱対策として牛舎内に設置されている送風ファンを清掃し、効果を検証した結果、図のように風速が高い場所が増え、平均で毎秒0.7m増加(体感温度で約5℃低下)できました。

ファンについたほこりや汚れは送風の妨げとなります。早めにファンの清掃を行い、猛暑を乗り切りましょう。



清掃による風速の変化

スムーズな新規就農を支援しています

管内の産地・市町村・農協と連携して、就農希望者の相談に応じ、新規就農研修事業を活用した円滑な就農を支援しています。令和6年は、美作市・勝央町で2名が農業実務研修を修了し、ぶどうで就農しました。就農後も各部会が中心となってサポートを継続しています。

また、勝央町では2名がぶどうで農業実務研修中で、これまでに14名のぶどう部会員に研修を受け入れてもらい、技術習得と就農地域への溶け込みを関係者が一丸となって応援しています。



新規就農者のほ場で助言するサポートチーム

新規就農者の紹介

宮脇舞子さん
(美作市)



祖父母のぶどう成園を引継ぎ、さらに自分の園地の若木育成をしながら、栽培管理を学んでいます。

これまでの縁を大切に、もっと地域に馴染んだ農家になり、「思わず笑顔になるぶどう」が提供できるよう努力していきたいです。

山岡義和さん
(美作市)



耕作放棄地を借り受け、開拓しながらさつまいも、ばれいしょ、ズッキーニといった露地野菜を無農薬、無化学肥料で栽培しています。

今後、地域に貢献できる担い手になり、美味しい野菜を消費者に直接届けたいです。

市原知徳さん
(勝央町)



ぶどうの成木と若木の管理をしながら地域の栽培管理を学んでいます。

今後、機械による省力化や、ハウスの導入による労働分散を図りながら、面積拡大を図っていききたいです。

新任農業士の紹介

二宮圭司さん
(奈義町)



令和6年度から岡山県農業士を務めます。水稲、飼料用トウモロコシ、作業受託等を組み合わせ経営安定を図っています。また、地元住民と連携し畦畔等地域保全に係る取り組みをしており、持続可能な水田農業に向けて模範となるような農業士を目指したいと思います。

表彰者の紹介

岡山県農林漁業
功労者表彰
岡山県農林水産
部長表彰

東内明美さん
(美作市)



岡山県農林漁業
功労者表彰
岡山県農林水産
部長表彰

中村真弓さん
(美作市)



畜産功労者に
対する知事感謝状

岸本美加さん
(勝央町)



おめでとうございます!!



©岡山県「ももっち・うらっち」

問い合わせ先

岡山県美作県民局農林水産事業部
勝英農業普及指導センター

〒707-8585 岡山県美作市入田291-2(勝英地域事務所4階)

TEL:0868-73-4067~4069

美作広域農業普及指導センター(※経営,花き,6次化に関するお問い合わせはこちら)

〒708-8506 岡山県津山市山下53(美作県民局第一庁舎別館2階)

TEL:0868-23-1496・1513

農畜産物生産課畜産第一班(※畜産に関するお問い合わせはこちら)

〒708-8506 岡山県津山市山下53(美作県民局第一庁舎別館5階)

TEL:0868-23-1310

ホームページは
こちらから

